

2024.4.15

## サローネサテリテ/SaloneSatellite 25 周年記念 「Universo Satellite. 25 years of SaloneSatellite」展

ベッペ・フィネッシがキュレーションし、リカルド・ベッロ・ディアスがインスタレーションするこのプロジェクトは、トリエンナーレの全歴史を振り返り、対話と繋がり、若者、学校とコミュニケーション、スケッチ、プロトタイプと製品を通して、デザインの歴史の断面を語ります。

1998年の創設以来、サローネサテリテ/ SaloneSatellite は卓越したクリエイティビティの場となっています。ミラノサローネ国際家具見本市(以下、ミラノサローネ)と完全に一体化しながらも、独自の「世界(ユニバース)」としての地位を確立してきました。ロー・フィエラミラノではサローネサテリテ 25周年を祝い、ミラノ・トリエンナーレにて「Universo Satellite. 25 years of SaloneSatellite(ユニヴァース・サテリテ サローネサテリテ 25周年)」展が開催されます。サローネサテリテを構想し、真のユニバースに変えたマルヴァ・グリフィン・ウィルシャーによる、その集大成が展示されます。この展示では、強力なアイデアを中心に、絶対的な「中心」を持ち、同時に一元的かつ多面的で、人、対話、繋がり、とりわけ若者たち(すなわち学校)によって構成され、最初のベンチャーに関心を持つ起業家や企業との出会いを期待して、彼らが発表した(そして大勢の人々に見せた)プロジェクトを一堂に会します。

サローネサテリテには、主に若手デザイナーたちがバラエティに富んだプロトタイプを持ち込み、家具の世界で何が起きているのかを明確に意識していることを示しているが、トリエンナーレでの展示は単なるオブジェの展示ではありません:というのも、このイベントの成果は、ランプ、椅子、花瓶といったプロジェクトそのものの成功にとどまらないからです。

- ・ サローネサテリテは、出会い、パートナーシップ、関係、対話を生み出してきました。
- ・ サローネサテリテは、新たな言語的方向性を生み出し、国際的なデザインの新たな言語形成に貢献しました。
- ・ 家具やプロダクトデザインを補完するような分野で活躍するクリエイターたちも、時を経て迎え入れてきました。
- ・ デザイナー育成における教育とは何かについて、独自の理解を示す数百の学校を受け入れてきました。

「Universo Satellite. 25 years of SaloneSatellite」展は、それゆえ、デザイン界に欠かすことのできないこの現実のさまざまな魂と側面を包含する展示プロジェクトであり、オブジェだけでなく、カタログ、ポスター、スケッチや草案、これらのプロジェクトを知的に取り入れた企業の研究開発センターで作成されたエグゼクティブ・ドローイング、そしてプロトタイプ、実物模型や縮尺模型、さらには写真、地図、長年にわたって展覧会を回顧してきた国内外のプレスの記事など、多くのものが展示される偉大なるヴンダーカンマー(博物館)のようなエキシビションです。

### キュレーター、ベッペ・フィネッシのコメント:

「私たちはずっと『SaloneSatellite』と呼んできましたが、この年月の中でサローネサテリテは真の『Universo(ユニヴァース)』となりました。歴史、プロジェクト、出会い、情熱に溢れ、若い主人公たちの夢と希望によって常に活気づけられてきたこの25年間で、国際的なクリエイティブ・シーンの新たなリーダーとなったのです」

リカルド・ベッロ・ディアス/Ricardo Bello Dias のデザインによるこの展覧会は、厳格でバランスの取れた構成で、壁の間に設けられた光り輝く開口部によって加速されるダイナミックな演出。3つのメインスペースの中央には、数十点のオブジェが大きな台の上に自由に配置され、壁面には多くのプロジェクトの写真やドローイングが展示され、もちろん主役は「プロダクト」です。



大きな連結スペースでは、長い壁が他の様々な素材を収容する、グラフィックデザインスタジオ obelo (クロード・マルゾットとマイア・サンボネ)によるエレガントで現代的なグラフィックと共に様々な資料が展示されています。それは毎年生まれたドラマや友情、繋がりを物語り、魔法と驚きの数々を復元するためのドキュメント、そして選考委員会、授賞式、審査員の特別な瞬間の物語、また、リカルド・ベロ・ディアスがデザインしたレイアウトによるイベントの画像、、、過去 14,000 人以上のすべてが再現されます。また、数百にのぼるデザイン学校の参加や、数多く作られたスタンドの中でも特に際立ったスタンドの数々も再現されます。

最後に、創設者マルヴァ・グリフィン・ウィルシャー氏が一貫してサローネサテリテ・プロジェクトに注いできた、並々ならぬバイタリティと情熱、そして惜しみないエネルギーを記録した貴重な資料も展示されます。

### Universo Satellite. 25 years of SaloneSatellite

会場: Triennale Milano / Viale Alemagna 6, Milano

オープニング: 4月16日(火)18:30

会期: 4月16日~28日 11:00 - 20:00 (休館日: 月曜日)

サローネサテリテ創設者兼キュレーター

マルヴァ・グリフィン・ウィルシャー / Marva Griffin Wilshire

アーカイブ・コーディネーションおよびレンダー・リレーションズ

ポルツィア・ベルガマスコ / Porzia Bergamasco、キアラ・ギラルディ / Chiara Ghilardi

キュレーター

ベッペ・フィネッシ / Beppe Finessi

アシスタント・キュレーター

マルタ・エリサ・チェッキ / Marta Elisa Cecchi

空間構成

リカルド・ベッロ・ディアス / Ricardo Bello Dias、ハリアドナ・ピネーテ / Hariadna Pinate

グラフィックデザイン

スタジオ・オベロ / studio obelo (クロード・マルゾット / Claude Marzotto・マイア・サンボネ / -Maia Sambonet)

本件についてのお問い合わせ先: 山本幸 [yuki@milanosalone.com](mailto:yuki@milanosalone.com)

International press info: Marva Griffin-Patrizia Malfatti [press@salonemilano.it](mailto:press@salonemilano.it)